

泉陽会 会報



編集発行・大阪府立泉陽高等学校

同窓会 泉陽会

〒590-0943 堺市堺区車之町東3丁2番1号

大阪府立泉陽高等学校内

TEL (072) 227-6030

FAX (072) 232-0005

URL <http://senyokai.jp/>

印刷：宏和印刷株式会社 代表取締役 八十 亨(27期)

令和5年度 総会



来賓と役員

陽春の候 コロナ対策を講じ、総会が開催されました。

- ・開催日時 ; 令和5年4月2日(日)
午前10時30分～12時
- ・場 所 ; 泉陽会館2階集会室
- ・参加人数(内訳) 校長 教頭
事務長 常任顧問 4名
役員 21名
会員 30名
合 計 55名

○岡本組織委員長(昭和52年卒・29期)より司会進行がなされました。

- ・君が代 校歌 旧校歌はピアノ演奏のみで開始
- ・伊藤裕康(昭和44年卒・21期) 会長挨拶
- ・栗山 悟学校長のご挨拶
- ・荒木教頭による新旧職員のご紹介
- ・議長選出 小西正明(昭和42年卒19期)
- ・議事録署名人 長山 茂(昭和44年卒21期)
富田博子(昭和46年卒23期)
2名の選出

令和5年度役員改正について

○令和2年に役員が改選され、泉陽会則(平成28年4月第8条「本会の役員の任期は3年とする再任は妨げない。」)に基づき、9ページの通り役員改選を行いました。

総会にて承認をされました新役員をご紹介します。

○東京支部長・天野純一氏(昭和53年卒・30期)が挨拶され、楽しくトークして下さいました。東京支部からは6名の方が参加されました。

○新会長・福井隆一郎氏が挨拶され、抱負を述べられました。

○総会のあと、年代をこえて皆さんとともに楽しく語り合えることを望んでいるのは筆者の私だけではないと思います。「来年こそは懇親会を」との思いがみなさんの胸中にあるのではない



福井新会長のご挨拶

でしょうか。来年令和6年の総会は4月7日(日)10時30分から開催されます。懇親会が開催でき、皆様にご参加いただけることを祈念いたします。



総会の会場

【いづみ第55号 コンテンツ】

新会長挨拶	2
前会長挨拶	2
校長挨拶	2
泉陽会について	3
令和4年度事業報告	4
令和5年度事業計画(案)	5
令和4年度収支決算報告	7
令和5年度予算(案)	8
令和5年度教職員異動	9

令和4年度(75期)母校の進路状況	10
令和5年卒(75期)代議員クラス幹事のご紹介	10
卒業生は今 加根光夫20期	11
公開講座報告	12
東京支部活動報告	12
同窓会報告・伝言板	13
二十歳の会同窓会	15
泉陽会より「報奨金贈与」	15
第147回泉陽会ゴルフコンペ開催のご報告	16
混声合唱団「コールいづみ」からのお誘い	16

令和6(2024)年度同窓会総会

4月7日(日) 午前10時半 場所：同窓会館

総会終了後、久しぶりに二次会(懇親会)を開催しますが、場所、会費等の詳細はホームページ等でお知らせします。

住所変更などの会員情報の
変更はこちらから



新会長ご挨拶

泉陽会会長 福井隆一郎(昭和41年卒・18期)

皆様 こんにちは！ 18期生の福井隆一郎と申します。この度は、伝統ある泉陽会の会長にご推薦頂き、就任させていただくことになりました。長年 会長をお勤め頂きました伊藤様はじめ、役員の皆様に、心より御礼申し上げます。又、栗山校長先生はじめ教職員の皆様に、今後とも引き続き、御指導お願い申し上げます。同窓会の運営に付きましては、私自身全く未経験で、皆様の御協力を、是非お願いしたく存じます。多くの卒業生は、多感な青春時代を泉陽高校で学ばれた方々です。心のつながりを大切に、新役員の皆様と泉陽会の発展に尽くして参りたいと思います。同窓会には、思い入れがある泉陽高校の為に、現役、卒業生に対する多くの委員会があります。この活動を支えていただいている皆様に、敬意を表したいと思います。今回、副会長に箕野さん、岡本さんが、ご就任頂きました。これからは、知り合いを通じて、文化クラブ、運動クラブの方々を始め、OB、OG、各支部の卒業生、特に若い方に、泉陽会のお手伝いをしていただきたく、輪を広め、繫げたいと思います。私は泉陽高校に在学中は、サッカー部に在籍しておりました。毎日、怖い先輩に、しごかれ、毎日へとへとになっ

て、家に帰っていたのをおぼえています。しかし、サッカー部に在籍させていただいたお陰で、OBとのつながりも強く、人一倍、泉陽高校に愛着を覚えます。

私は堺の伝統産業である「堺刃物」の家業を継いで、5代目として、地場産業の発展に努めております。鉄砲の製造をルーツとする堺打刃物を、先輩方の優れた製造技術を受け継ぎ、次代を担う後継者の成長を願っております。「堺刃物」は、最近、海外への販路も広がり、「和食」がユネスコ世界文化遺産に指定されて、より認知されるようになってきました。

旧堺市の環濠の中にある唯一の高校の泉陽の周辺にも、多くの事業所が点在しています。大阪府立泉陽高校は堺高等女学校として始まり、戦後、新制高校として、多くの素晴らしい卒業生を輩出してきた歴史と伝統ある学校です。泉陽高校ファンも多く、地域に根付いています。これからも、現役の方は申すまでもなく、泉陽会のお一人お一人が、力を合わせて前進していきましょう。今後ともよろしくお願い申し上げます。



前会長ご挨拶

会員の皆様、各役員の皆様ありがとうございます。

一引続き、泉陽会へのご協力をお願いします。

泉陽会前会長 伊藤 裕康(昭和44年卒・21期)

拝啓 泉陽会の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

いづみ発送にあたりご支援、ご協力、ご教授いただいた事に対し改めて御礼申し上げます。ありがとうございます。2期6年にわたり会長を拝命し、無我夢中でやってまいりました。この間、2020年には泉陽高校創立120周年を迎え、学校、PTA、同窓会が一堂に会し色々企画、立案し実施を考えていましたがコロナウイルスの猛威により記念式典、記念祝賀会等を中止せざるを得ないことになりました。学校では120周年記念誌の発行にとどまりましたが同窓会においては学校、生徒諸君の念願であった食堂に空調設備を2022年に設置し、記念事業とさせていただきます。生徒諸君から今まで以上に食堂が憩いの場になりましたことは、大いなる喜びでありました。さて泉陽会の改革といたしましては、生徒諸君の活動を少しでもバックアップする方法として近畿、全国大会などに参加されたクラブにお祝い金をお渡しするという事業も始めました。また、名簿の管理を厳密に

行うために業者委託を行い、機関誌「いづみ」発送の効率化を図り、会費納入方法としてコンビニ振り込みを導入致しました。そして新しい試みとして「クラブ交流会」を発足し同窓の親睦をより親密にしようと試みています。残念ながらコロナウイルスの影響で中断いたしておりますが新会長さんに引き継いで頂きたいと思っています。

先日総会では学校の要望として、近年必要になっているスクールカウンセラーの活動される場所として、生徒相談室を設置するにあたり、必要な備品購入費を予備費より支出し寄付させて頂く事を承認いただきました。突然の起案でしたがお認めいただきありがとうございます。今まで以上に学校、生徒諸君、PTAの皆様、同窓会が泉陽高校、泉陽会の発展にスクラムを組んでいただくと願ってやみません。最後にあたり福井新会長様のもと新たな一歩を進まれていくことにご協力、ご支援をお願いして退任のあいさついたします。

敬 具



校長ご挨拶

泉陽高等学校 校長 栗山 悟

泉陽会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校へ多大なるご支援を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、過日開催されました令和5年度総会におきましては、会長、副会長、会計監査などの役職において役員改選がなされました。これまで長年に渡り重責を担っていらっしゃいました伊藤会長様をはじめ役員の皆様にお礼を申し上げるとともに、今般、新会長に就任されました福井隆一郎様をはじめ、新たな役員の皆様方に今後とも引き続き、母校の教育活動の推進に当たってご協力頂きますよう、お願い申し上げます。

ところで、昨年末、役員の方々ととの会合の場で「ちょっと困っているんです…」と生徒からの相談に乗る適当な場所(部屋)がないことを話題にすると、早速親身に相談に乗ってくださり、校内のカウンセリング・ルーム整備に向けて今総会の議案上程に繋がりました。120周年記念事業の一環で食堂のエアコン設置をご支援頂いたばかりであるにも関わらず、カウンセリング等の環境充実のためにソファやテーブルなどの購入予算を認めて頂きました。



学校の管理予算ではなかなか手が回らないところへのご支援はとても有難く、教職員はもとより、実際に教育相談に当たるスクール・カウンセラー、スクール・ソーシャルワーカーの先生方も大変喜んでくださっています。6月ごろになるかと思いますがカウンセリング・ルームに什器が整備されましたら、また校長ブログなどでご報告させていただきます。

教育環境の整備については、この度、ICT活用の日常化に向けた取組みの推進などを目的とする「リーディング・GIGA・ハイスクール」の研究校(府内30校)に指定され、全ホームルーム教室(24室)に電子黒板機能付きの最新型プロジェクターが設置されました。「宝の持ち腐れ」とならないよう、先生方は2月末に設置されるや否や使い方について自己研修を深め、互いに情報交換を進めています。研究期間となるこれからの3年間で、どのような取り組みが現れるのか、授業はどのよう

に変わっていくのか、今後が益々楽しみとなっています。

一方、在校生たちの様子はと言えば、すでに体育祭に向けて準備する姿があちこちに見られます。この原稿を執筆しているのは4月末ですが、年々暑くなる気候変動の中で体育祭も例年の6月上旬から今年度は5月下旬に繰り上げたため、準備も前倒しになっています。早朝、夕方、あちこちで踊る姿があり、ペンキを片手に這いつくばってアーチづくりにも精を出しています。勉強に、部活動に、そして学校行事に「進取果敢」(創立120周年を機に策定した生徒スローガン)に挑む生徒たちの姿はこれまでと変わりありません。その姿をまた、全面改定したホームページで発信して参りますので、同窓会の皆様方には、躍動する後輩たちの姿を今後も見守って頂ければ大変幸甚です。

泉陽会について

会長以下の執行部と、各期で任命された代議員並びに会員(卒業生のみなさま)によって構成される組織となっています。執行部は、ボランティアとしての活動ですが、会の目的である『本会は会員相互の親睦を図ると共に、母校の「進歩と発展」に寄与することを目的とする』を達成するために、それぞれの役割を持つ委員会と、会員相互の親睦を深める同好会が組織化され、活動を展開しています。年々、執行部のメンバーも高齢化してきており、そろそろ若いパワーも欲しいところです。興味のある方は、一度、執行委員会にでも顔を出してみてください。執行委員会は4、6、8、1月を除き、年に8回開催しています。

右記は現在の執行部の組織図です。役員並びに執行委員は、みなさまからお預かりした年会費を原資に、事業計画、予算に基づいて泉陽会の目的を実現するための活動を展開しています。無報酬の活動であり、母校愛?にねざした活動となっています。

会の運営については、定期的な会議体で各委員会、同好会の調整をはかり、定期的な代議員会議での諮問を受け、総会で承認を受ける形式となっています。令和3年度に、コロナ禍での総会開催が困難となったため、このような場合の議案承認の新たなルールが設定されました。

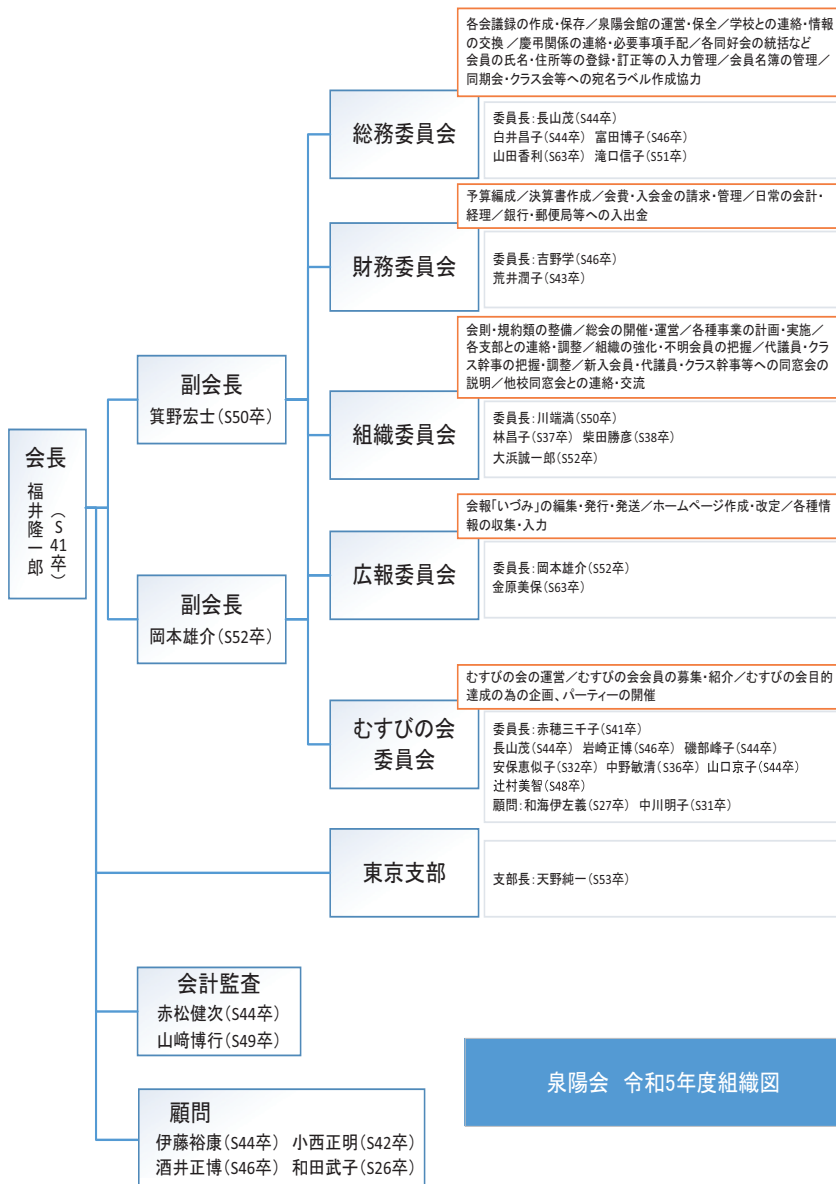
年間の主な行事は、次のとおりです。

- ・総会 年次開催(毎年4月)
- ・代議員会議(年3回 7月、12月、2月)
- ・委員長会議(月次開催/8月休会)
- ・執行委員会議(月次開催/4、6、8、1月休会)
- ・いづみ発送作業(毎年6月)
- ・公開講座(年2回)

総会と12月の代議員会議の日には、懇親会と忘年会を開催し、会員の交流を深めています(残念ながら、この数年は中止としています)。現在、同好会は、『晶子研究会』、『ゴルフ同好会』、『混声合唱団「陽」』の3つの活動が展開されています。以前は他にも多くの同好会があったのですが、会員の高齢化や減少で休止となっており、新たな有志による同好会の発足が期待されるところです。



新旧役員及び東京支部の皆様と



泉陽会 令和5年度組織図

令和4年度事業報告

1. 総務委員会

計画に基づいて、在校生支援活動、項目1の会議録作成、資料作成、会館の備品等の管理などを行いました。

◎会議(執行委員会、代議員会)の状況の報告
執行委員会

	年 月 日	内 容
第1回	令和4年5月21日	委員会報告(総会報告他)
第2回	令和4年7月16日	委員会報告
第3回	令和4年9月3日	委員会報告
第4回	令和4年10月15日	委員会報告
第5回	令和4年11月19日	委員会報告 令和5年度予算案について
第6回	令和4年12月10日	委員会報告(会議後懇親会開催)
第7回	令和5年2月18日	委員会報告 令和4年度決算報告 令和5年度事業計画案について
第8回	令和5年3月18日	委員会報告 令和4年度事業報告

代議員会

第1回	令和4年10月15日	委員会報告、総会報告
第2回	令和4年12月10日	委員会報告 令和5年度事業計画案について
第3回	令和5年2月18日	委員会報告、令和4年度決算報告 令和5年度事業計画案について

◎会館使用状況の報告

泉陽会館使用状況(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

主なものを記載

- ・執行委員会(代議員会含む) 8回
- ・床清掃 7回
- ・同窓会 115回
- ・学 校 143回(内訳 同窓会関係ーむすびの会、混声合唱団「陽」、コール・いづみ、コール・ドラフト、混声合唱団「ひだまり」他/学校関係ーダンス部、校長会、PTA実行委員会 他)

◎名簿関係

- ・74期の卒業生は学校側から資料を頂き、株式会社サラトに資料を送り、データを入力してもらいました。
- ・株式会社サラトにホームページ等にて住所変更を連絡しました。
逝去の方に関しては電話、FAX等で同窓会館に連絡があるので、担当者が確認し、株式会社サラトに連絡しました。
- ・会報「いづみ」の発行後、代議員の方に住所不明者を連絡し、新住所の調査を依頼しました。
- ・宛名シール(学年同窓会等)の作成依頼、発送業務については株式会社サラトに依頼しました。

	令和3年3月末現在	令和4年3月末現在
総会員数	38,661名	38,969名
新会員数	357名	358名
物故者数	4,190名	4,496名
いづみ発送部数	22,681名	21,939名
いづみ戻り部数	712名	338名

2. 組織委員会

◎令和4年度総会

コロナ禍に対し措置をとり、無事総会が終了しました。

- ・開催日時：令和4年4月3日(日)
- ・開催場所：泉陽会館 2F 集会室
- ・出席人数：校長 教頭 事務長 元校長 4名
執行役員 17名
代議員 会員 19名
計40名

- ・岡本組織委員長(昭和52年卒29期)より司会進行がなされました。
- ・「総会次第」に基づき進行、今回の6議案はいずれも問題なく可決・承認されました。
- ・今年度着任された、「栗山 悟 校長」のご挨拶では、食堂に空調が設置されている高校は少ないようです。空調設置に感謝の言葉を頂戴しました。
- ・ご出席者の方より「食堂」を是非見学したいとの要望があり、閉会后、事務長さんのご案内で食堂の見学をしました。
- ・コロナ禍により120周年の「記念式典」「祝賀会」は開催できませんでしたが、在校生のみなさんへの価値ある記念品の贈呈は記念に残ります。

◎「公開講座」の報告

タイトル 「あなたの知らない消防の世界

～始めましょう 予防救急～」

開催日時：令和4年10月15日(土) 15時～

場 所：泉陽会館 2階

参加者人数：30名

講 師：大浜 誠一郎(昭和52年卒29期生)
令和3年4月より一般社団法人「大阪IJ(いのちの授業)」に在籍。
救急企画・コーディネーター、救急救命士。

—講演の内容—

西村 明氏(昭和52年卒29期生)より大浜氏のプロフィールが紹介されました。
泉陽高校に於ける野球部の活動から始まりました。35年6か月の消防人生で、20年間を現場対応の救急隊で活動。2万件を超える災害現場に出動し、社会の縮図という様々な事案に遭遇。それらの内容を盛り込み「消防の現状」「119番通報の実例」「事例の紹介」等タイトルを設け、それに従ってお話頂き、わかりやすかったです。
私たちの日常生活に関連することもあり活発に質疑応答がなされました。

—講師プロフィール—

- ・島根大学法文学部法学科卒業。
- ・昭和58年10月 大阪市消防吏員を拝命。
- ・平成7年 救急救命士の国家資格を取得。

- ・最後の勤務地 大正消防署
- ・平成31年3月 定年により救急担当司令で消防界を引退。

◎文化部・運動部「クラブ交流会」第2回開催について

- ・令和元年6月に開催され、「是非次回の開催を」との要望を取り入れるよう検討しましたが、コロナの状況下では開催は不可能と判断の上、断念しました。

◎三国丘高校との交流について

- ・令和4年11月23日(日) 三国丘との野球交流戦(現役・OB)が開催されました。

◎「二十歳の会」成人式を迎える卒業生の報告

- ・開催日時：令和5年1月5日(日)
- ・開催場所：ホテルアゴーラ・リージェンシー堺
- ・対象卒年：令和3年卒・73期生
- ・参加者数：230名(卒業生355名)
教職員 8名の参加を頂きました。
- ・例年通り、泉陽会から通信費等の若干の支援を行いました。

3. 広報委員会

◎広報誌いづみの価値向上

- 令和4年度の結果
- ・コロナ禍の影響で投稿記事が大幅に減少されました。特に「同窓会記事」は大幅に減少、充実した誌面づくりを目指すため「特集ページ」によりなんとか例年の量は確保できました。
- アンケートによる今後の課題
- ・全体的な満足度は昨年度と大きな変化はありませんでした。
- ・読みやすさについては引き続き不満があるため、その解消が課題となります。
- ・活字が小さすぎる、もう少し活字を大きくしてください。
- ・活字をもう少しだけ、大きくして頂くと、たすかります。
- ・特に表紙の印刷は写真とダブって読みにくい。レイアウト面での意見が数多く寄せられています。
- ・回答の年度が、比較的若い世代まで広がり、今年度

は在校生からも1件の回答がありました。
QRコードを表紙に掲載することで、反応率が向上したと考えられます。
引き続き、反応率の向上が課題となっています。

◎ホームページ

- ・「泉陽会オープンゴルフ」年4回都度、参加者の記念写真・成績を掲載しております。
- ・「昭和26年卒・3期・90歳 同窓会」の報告を掲載しております。

4. 財務委員会

- ・令和4年度、入出金の管理
- ・年会費のコンビニ支払い継続

5. むすびの会委員会

◎令和5年1月末現在会員数

- ・男性19名(入会者4名)
- ・女性22名(入会者6名)

◎見合い立会い件数 18件

6. 同好会

晶子研究会

◎「晶子フォーラム」の開催について

タイトル：「晶子フォーラム2022 与謝野晶子倶楽部設立25周年」
「アートで彩る晶子の姿」

- ・例年通り、令和4年5月14日～6月5日迄開催されました。泉陽高校文芸部より出展しております。

混声合唱団「^{ひかり}陽」

◎令和4年度活動報告

- ・練習回数 22回(内泉陽会館使用 20回)

◎ステージ回数

- ・大阪府合唱祭
令和4年1月16日(日) SAYAKAホール
- ・関西混声合唱フェスティバル
令和4年3月20日(日) 豊中文芸大ホール(中止)

ゴルフ同好会

泉陽会・ゴルフ 同好会報告

定例会合	開催日時	開催場所	優勝者	卒年	参加数
第142回	令和4年3月18日	天野山c.c.	楠本 誠一	昭和48年	15名
第143回	令和4年5月13日	天野山c.c.	楠本 誠一	昭和48年	17名
第144回	令和4年9月9日	天野山c.c.	宮田 年雄	昭和27年	16名
第145回	令和4年12月2日	天野山c.c.	鍋谷 稔	昭和29年	18名

令和5年度事業計画(案)

1. 総務委員会

令和5年度の計画

令和5年度日程を作成、これに基づき活動します。

- ・事業継続(在校生支援活動)
- ・会議 執行委員会 年8回(4、6、8、1月は休み)
代議員会 年3回
(会議開催の前日の金曜日の午前中に清掃業者による床清掃 8回)
- ・慶弔規程により電報等の発信
- ・卒業証書入れ(A4両開きファイル)の贈呈
- ・各委員会の会議記録、資料作成、備品等の管理・保管
- ・会館運営管理
- ・名簿管理
業務委託の株式会社サラトとデータを共有し、会員からの情報等によりデータを最新に保持します。
75期の卒業生の資料を学校からいただき、株式会社サラトに送付します。
ホームページを使った方法で住所変更を行います。
広報誌「いづみ」を発行後の住所不明者は代議員に調査依頼を行います。
宛名シール(学年同窓会等)の作成依頼、発送業務については株式会社サラトに依頼します。

2. 組織委員会

- ◎令和5年度の総会開催について
- ◎「公開講座」の年2回実施について
- ◎文化部・運動部「クラブ交流会」第2回開催について
※上記4件の課題に付きましてはコロナの状況を判断の上開催をお知らせします。
- ◎「二十歳の会」の支援
引き続き成人式を迎える卒業生に対し、支援をします。

3. 広報委員会

- ◎広報誌いづみの価値向上
・コロナが5類になり、皆様の活動も活発になると思われます。積極的に記事を集め、充実した誌面づくりを目指します。
- ・ホームページのご意見を検討し、泉陽会の活動案内、活動企画の募集記事を掲載します。
- ◎ホームページ
より一層会員相互のつながりを深めるためにも、幅広く、迅速に掲載してゆきたく思っております。

4. 財務委員会

- ・令和5年会計年度に於ける入出金の管理
- ・泉陽会活動のサポート寄付システムを構築

5. むすびの会委員会

- ・OBの委員8名が会員の皆様の良縁のお手伝いをさせていただきます。
- 平成6年発足より129組の成立がありました。昨今では出会系サイト、民間業者等がありますが、むすびの会では身元が確かな方が入会されています。

- ・会では随時、会員、委員を募集しています。申込み、お問い合わせは後記のホームページよりお願いします。
 - ・毎月第二、第四土曜日、14～16時、会員の閲覧を行っています。直接来ていただいても結構ですが、変更になる場合がありますので、ホームページでご確認の上お越しください。
- ホームページアドレス：<https://senyokai.jp>

6. 同好会

晶子研究会

晶子フォーラム2023(決定)

- (主催：与謝野晶子倶楽部 共催：さかい利品の杜)
- 日 時：令和5年5月27日(土) 14:30～16:30
会 場：堺市総合福祉会館 大ホール 定員：496人
内 容
- ・第1部 合唱 14:30～15:00
出 演：泉陽高校音楽部、ヴォーチェ・コン・カローレ、Chor.Draft、コールいづみ有志)
 - ・第2部 講演 15:15～16:30
講 師：松村部由利子(歌人、「かりん」編集委員)
テーマ：「大正時代における与謝野晶子」

ギャラリー展「アートで彩る晶子の姿」(決定)

- 会 期：令和5年5月23日(火)～6月4日(日)の13日間
会 場：さかい利品の杜 2階企画展示室半室、1階茶室 ほか
内 容：晶子倶楽部会員によるギャラリー展

ゴルフ同好会

◎令和5年度 泉陽会・ゴルフ同好会 予定

定例会合	開催日時	開催場所
第146回	令和5年3月17日	天野山c.c.
第147回	令和5年5月12日	天野山c.c.
第148回	令和5年9月8日	天野山c.c.
第149回	令和5年12月1日	天野山c.c.

◎令和5年度の取組み

- ・泉陽オープンゴルフは年4回天野山CCにて開催します。
- ・初参加大歓迎。2023年開催日は別表通り。
- ・問い合わせは、
泉陽ゴルフ幹事 竹山三郎090-3358-0392まで
(昭和48年卒・25期)

混声合唱団「陽」

◎令和5年度活動予定

- ・練習回数 24回(内泉陽会館使用 22回)

◎ステージ回数2回

- ・大阪府合唱祭
令和5年6月11日(日)
大阪狭山市 SAYAKAホール
- ・関西混声合唱フェスティバル
令和6年2月11日(日・祝) 豊中文芸大ホール

令和 4 年度収支決算報告（令和 4 年 1 月 1 日から令和 4 年12月31日）

収入の部 (単位：円)

科目	予 算	決 算
入会金 予算357名・決算357名	3,213,000	3,213,000
年会費 予算1,500件・決算1,395件	4,500,000	4,192,000
預金利息	1,000	53
その他収入	30,000	81,232
総会懇親会負担金	0	0
むすびの会	50,000	50,000
前年度繰越金	7,462,101	7,462,101
合 計	15,256,101	14,998,386

明細A

支出の部 (単位：円)

	科 目	予 算	決 算
組織委員会	総会費	100,000	25,520
	事業費	300,000	140,400
総務委員会 (旧名簿委員会含む)	事務費	650,000	622,809
	会館運営費	200,000	417,427
	会合費	200,000	48,000
財務委員会	慶弔費	50,000	70,000
	親睦費(助成金)	200,000	150,000
	教育振興費	400,000	230,000
	卒業記念品	300,000	280,245
	年会費振込料等	250,000	246,634
広報委員会	いづみ印刷代など	600,000	539,550
	いづみ発送費	2,500,000	2,324,105
	IT関係費	400,000	77,000
むすび委員会		200,000	103,265
修繕積立金		0	0
記念事業積立金		1,000,000	1,000,000
小計		7,350,000	6,274,955
予備費		7,906,101	
次年度繰越金			8,723,431
合 計		15,256,101	14,998,386

明細B

明細C

明細D

明細E

明細F

明細G

明細H

明細 I

明細 J

明細K

収支決算報告明細

(いずれも単位：円)

収入の部

明細 A その他収入

寄付 17期生2年2組	41,232
寄付 豊谷良子様	10,000
寄付 朝比奈様	30,000
合計	81,232

支出の部

明細 B 総会費

総会資料	23,760
総会式次第	1,760
合計	25,520

明細 C 事業費

72期生20歳の同窓会援助	50,000
20歳の同窓会名簿ラベル作成	6,400
各学年名簿ラベル作成 5期分	32,000
メール送信東京支部	22,000
公開講座講師謝礼	30,000
合計	140,400

明細 D 事務費

輪転機リース料	286,416
役員名簿	39,600
コピー機再リース料	12,936
電話代	104,060
郵便料 往復はがき・切手など	49,129
事務用品	94,832
茶飲料	7,516
茶菓代	8,658
日用品	19,662
合計	622,809

明細 E 会館運営費

クロス張り替え	255,585
毎月の清掃費	88,000
電気代	63,392
火災保険	10,450
合計	417,427

明細 F 慶弔費

開口神社初穂料	20,000
餞別	50,000
合計	70,000

明細 G 親睦費(助成金)

堺市晶子倶楽部	50,000
東京支部助成金	100,000
合計	150,000

明細 H 教育振興費

吹奏楽部	20,000
音楽部	20,000
軽音楽部	20,000
弦楽部	20,000
ダンス部	10,000
ストリートダンス部	10,000
定期発表会分小計	100,000

ダンス部・全国大会出場	30,000
ダンス部・全国大会出場	30,000
ポピュラーミュージッククラブ全国大会	30,000
水泳部・近畿選手権出場	10,000
男子ソフトテニス部・近畿大会出場	10,000
陸上競技部・近畿大会出場 2大会分	20,000
全国・近畿大会分合計	130,000

教育振興費総合計	230,000
----------	---------

明細 I いづみ印刷など

いづみ印刷	508,750
運送費・印刷会社から発送会社へ	30,800
合計	539,550

明細 J いづみ発送費（総発送数21938通）

特別区分け	56,965
振込用紙印刷 単価10円	219,970
宛名出力 単価8円	175,976
封筒 単価5円	110,235
封入 単価6円	119,670
封緘 単価4円	79,780
基本料金	5,000
消費税	210,581
郵送費 単価61円 ゆうメール	1,338,218
いづみサラト発送費	7,710
合計	2,324,105

明細 K むすび委員会

会議費	6,544
通信費	60,900
交通費	22,720
印刷費	8,739
事務消耗品	4,362
合計	103,265

泉陽会 令和4年度末 財産目録

(令和4年12月31日現在)

通 常 会 計 (単位:円)	
現 金	102,959
普通預金	4,939,521
普通預金	951,379
郵便振替	2,335,926
郵便振替(名簿口座)	393,646
合 計	8,723,431

修 繕 積 立 金 (単位:円)	
定期預金	7,115,027
定期預金	6,003,140
定額定期貯金	2,015,337
合 計	15,133,504

記 念 事 業 積 立 金 (単位:円)	
定期預金	4,023,798
定期預金	960,828
郵便貯金(貯蓄型Ⅱ)	193,291
合 計	5,177,917

会計監査

監査の結果、適正に執行されていると認めます。

令和5年1月28日

会計監査 赤 松 健 次 印

会計監査 志 尾 喜久子 印

令和5年度予算案 (令和5年1月1日から令和5年12月31日)

収入の部 (単位:円)				令和5年度予算額
科目		令和4年度実績		
入会金	357名	3,213,000	358名	3,222,000
年会費	1395件	4,192,000	1400件	4,200,000
預金利息		53		1,000
その他収入		81,232		30,000
総会懇親会負担金		0		0
むすびの会		50,000		50,000
小 計		7,536,285		7,503,000
前年度繰越金		7,462,101		8,723,431
合 計		14,998,386		16,226,431

支出の部

各委員会	科 目	令和4年度実績	令和5年度予算額	
			合 計	内 訳
組織委員会	総会費	25,520	400,000	100,000
	事業費	140,400		300,000
総務委員会	事務費	622,809	950,000	600,000
	会館運営費	417,427		200,000
	会合費	48,000		150,000
財務委員会	慶弔費	70,000	1,330,000	50,000
	親睦費(助成金)	150,000		200,000
	教育振興費	230,000		400,000
	卒業記念品	280,245		330,000
	年会費振込料等	246,634		350,000
広報委員会	いづみ印刷	539,550	3,500,000	600,000
	いづみ発送費	2,324,105		2,500,000
	IT関係費	77,000		400,000
むすび委員会		103,265	200,000	200,000
記念事業積立金		1,000,000	1,000,000	1,000,000
修繕積立金		0	0	0
小計		6,274,955	7,380,000	7,380,000
予備費			8,846,431	8,846,431
次年度繰越金		8,723,431		
合 計		14,998,386	16,226,431	16,226,431

令和5年度 役員改選(案)

泉陽会会則(平成28年4月改正)第8条「本会の役員の任期は3年とする再任は妨げない。」に基づき、右記の通り役員改選の提案をします。

役 職	新任者名	卒 年	退任者名	卒 年
会 長	福井隆一郎	昭和41年	伊藤 裕康	昭和44年
副 会 長	箕野 宏士	昭和50年	酒井 正博	昭和46年
副 会 長	岡本 雄介	昭和52年	山崎 博行	昭和49年
会計監査	赤松 健次	昭和44年	志尾喜久子	昭和35年
〃	山崎 博行	昭和49年		

与謝野晶子の作品の保管管理について(案)

現在泉陽高等学校及び泉陽会が保有している与謝野晶子氏の作品をさかい利晶の杜の与謝野晶子記念館(堺市博物館の管轄)に寄託(無料での保管・管理)することを提案します。

泉陽会及び泉陽高等学校は与謝野晶子氏の作品及び関連重要資料を十数点所有しておりますが、近年その管理状態においては十分とは言えないものになってきています。

このような中で、さかい利晶の杜の学芸員より、管理が行き届いた「さかい利晶の杜の収蔵庫」で預かりますとのご提案を頂きました。

寄託すると、市の学芸員によって晶子作品・関連重要資料のリストの作成、完璧な収蔵庫(空調設備あり)での保管、また作品の文化財燻蒸も行っていただけます。学芸員の選択によって、利晶の杜で展示して頂くこと

で、泉陽高校だけでなく、広く一般の方々に見て頂くことが出来ます。

もちろん、一時返還で泉陽会館の展示室での展示も可能です。(令和5年1月1日～12月31日)

生徒相談室の設置における備品提供(案)

近年の生徒状況により生徒のカウンセリングが増え、生徒相談室の設置が急務になりました。空き教室を転用するにあたり、備品購入が必要で学校より泉陽会に援助を要請されました。

必要備品(テーブル、椅子など)の代金は79万円(税別)です。空き教室の改修などは学校側で行います。専用の相談室が出来ることにより、生徒達が充実したなカウンセリングを受けることが出来ると思われます。尚、この費用は予備費より支出いたします。

令和5年度 教職員異動

2023. 4. 1 現在

転 出					転 入				
職名	教科	氏 名	転出先	備 考	職名	教科	氏 名	転入元	よみがな
首席	数学	石橋 義之	本校(教諭)		首席	社会	明山 寛之	本校(教諭)	あきやま ひろゆき
教諭	国語	古川 利恵	河南高校		教諭	国語	隅野 裕介	成美高校	すみの ゆうすけ
	数学	吉澤 広之	桜和高校			数学	石橋 義之	本校(首席)	いしばし よしゆき
	社会	明山 寛之	本校(首席)			保健体育	小出 一平	堺西高校	こいで いっぺい
	保健体育	多田 雅征	成美高校			英語	浄土寺美佳	本校(定年退職)	じょうどじ みか
	英語	平川 善恵	今宮高校		実習教員	家庭科	桐島 誠子	西成高校	きりしま せいこ
	英語	浄土寺美佳	本校(再任用)	定年退職	講師	英語	富田 学誠	府立高校新規登録	とみた がくし
講師	数学	上田 光男	本校(非常勤講師)	退職	事務	事務長	森 和美	本校(主査)	もり かずみ
	理科	杉中 周平	本校(非常勤講師)	退職		主査	増田 実	福泉高校(事務長)	ますだ みのる
	英語	安達 洋子	愛知県立瑞陵高校	退職					
事務	事務長	鶴丸 眞治	登美丘高校	定年退職					
	主査	森 和美	本校(事務長)						

令和4年度(75期) 母校の進路状況

国公立大学合格者数

大学名	学部名	2023年度	
		現役	既卒
北海道	総合理系		1
東北	工		1
東京農工	農・医(看護)		1
電気通信	情報理工		1
横浜国立	経済	1	
金沢	理工	1	
福井	工	1	
信州	繊維		1
静岡	教育		1
名古屋	工		1
名古屋工大	工	1	
三重	工	1	1
京都	農		1
京都工芸繊維	工芸科学	3	
	文・法	1	
大阪	外国語		1
	理・工・基礎工	3	
	小計	4	1
大阪教育	教育	23	1
	国際文化・文・国際人間	5	
神戸	理・工	1	1
	医(保健)	1	2
	小計	7	3
奈良教育	教育	5	
奈良女子	理・工・生活環境	4	
	経済	4	1
和歌山	教育	4	
	システム工	15	1
	小計	23	2
島根	生物資源	1	
岡山	工	2	1
広島	工・情報科学	1	1
徳島	理工・生物資源	2	
香川	創造工		1
愛媛	工	1	
大分	教育	1	
宮崎	農	1	
鹿児島	共同獣医		1
国立大学合計		83	20

大学名	学部名	現役	既卒
秋田県立	生物資源		1
高崎経済	経済	1	
東京都立	システム	1	
名古屋市立	薬		1
	文	2	
	法	1	
大阪市立	経済	4	
(~2021)	商	3	
大阪公立	医(看護)	3	
(2022~)	理	2	
	工	6	3
	小計	21	3
大阪府立	現代システム科学・環境システム	1	
(~2021)	現代システム科学・教育福祉	1	
大阪公立	生命環境科学・緑地環境科学	4	
(2022~)	小計	6	0
神戸市外国語	外国語	1	
神戸市看護	看護	1	
奈良県立医科	看護	1	
和歌山県立医科	保健看護	3	
	医学(薬)	2	
岡山県立	情報工	1	
尾道市立	経済情報	1	
愛媛医療技術	看護	1	
高知県立	文化・看護	1	
公立大学合計		41	5

国公立大学合計	124	25
	149	

私立大学の合格者数

大学名	2023年度	
	現役	既卒
青山学院		1
早稲田	1	1
武蔵野美術	2	
専修		1
東海	3	
東京理科		3
明治		2
立教		2
名城	4	
長浜バイオ	7	
京都外国語	1	
京都産業	2	
京都女子	14	
京都精華	1	
京都橘	1	
同志社	63	19
同志社女子	33	
佛教	4	
立命館	48	17
龍谷	34	8
追手門学院	8	
大阪大谷	3	
大阪音楽	1	
大阪経済	7	
大阪芸術	2	
大阪工業	18	4
大阪産業	9	
大阪成蹊	3	
大阪電気通信	1	
大阪商業	1	
大阪医科薬科	3	
関西	215	24
関西医科	1	
関西医療	4	
関西外国語	12	
近畿	277	40
四天王寺	7	
摂南	13	3
帝塚山学院	10	
羽衣国際	1	
桃山学院	33	2
桃山学院教育	15	
森ノ宮医療	7	
大和	20	6
関西学院	152	10
甲南	6	
甲南女子	6	
神戸女学院	1	
神戸薬科	1	
関西福祉	1	
武庫川女子	63	
畿央	90	
私立大学計	1,209	141

関関同立近の合格者数

大学名	学部名	2023年度	
		現役	既卒
同志社	文	9	1
	社会	9	
	法	5	1
	経済	9	
	商	12	1
	政策	9	
	文化情報	1	2
	理工	8	13
	生命医科学	1	1
	グローバル・コミュニケーション	1	
	グローバル地域文化		
	計	64	19
立命館	文	8	
	産業社会	2	
	法	5	
	政策科学	4	
	経済	3	2
	経営	9	4
	情報理工	6	1
	理工	8	5
	生命科学		4
	映像	1	
	総合心理	2	1
	計	48	17
関西学院	文	28	2
	社会	33	1
	法	18	1
	経済	17	1
	商	10	1
	人間福祉	9	
	国際	3	
	教育	3	
	総合政策	8	
	理・工	10	2
	生命環境	9	2
	建築	1	
	計	149	10
関西	法	12	
	文	40	
	経済	8	
	商	21	
	社会	21	
	政策創造	3	
	外国語	11	
	人間健康	17	
	総合情報	5	1
	社会安全	2	
	システム理工	41	6
	環境都市工	21	9
	化学生命工	13	8
	計	215	24

令和5年卒 75期代議員クラス幹事のご紹介

今年も泉陽会にフレッシュな仲間が増えました。若い力で、ますます泉陽会の発展にご協力をお願いします。

- | | | |
|----|-------|-------|
| 1組 | 大野 璃美 | 中井 凜香 |
| 2組 | 小段 弦音 | 杜 雨欣 |
| 3組 | 大池 春貴 | 實原 一真 |
| 4組 | 杉本 拓海 | 二重 颯斗 |
| 5組 | 倉員 将生 | 二階 大起 |
| 6組 | 須藤 仁子 | 農本愛香里 |
| 7組 | 高田 純希 | 土田 拓未 |
| 7組 | 戸崎凜太郎 | 西本 隼輔 |
| 8組 | 関戸 日向 | 西山 太智 |
| 9組 | 岡田 葵乃 | 山本 大朔 |

太字は代議員です。



～卒業生は今～ 加根光夫(20期生) 夏井先生の俳句に魅せられて 広報 岡本節子

広報：今回はテレビのプレバトでお馴染みの夏井先生の夫であり、夏井&カンパニーの代表取締役の本校20期生加根光夫さんにご登場いただきます。最初に泉陽高校卒業後どのように過ごしてしたか？

加根：卒業後 関西大学法学部法律学科に進みました。

私たちの頃は折からの大学紛争の時代でしたので、大学に入ってしばらくして大学がロックアウトされ、講義も1年ぐらいないという有様でした。2回生の途中までは、法律のクラブに入り、一時は司法試験を目指したりもしましたが、講義もない状態で、モチベーションが持続せず、早々に諦めてしまいました。

広報：大変な時代でしたね。

加根：はい。本当に大変な時代だったと思います。その後、法律とは全く関係のない、文章を生かす道がないかと考え、コピーライター養成講座に通い学びました。広告のコピーライトは、ある種の新鮮さもあり、楽しく学んでいたと思います。

広報：大学ご卒業後はどのように過ごされましたか？

加根：家業の薬局を手伝いながら、なんということはない日々を送っていました。その頃、泉陽の同級生の山本偉志夫君(50歳代で亡くなられてしまいました)から電話があり、彼が勤めていたCM制作会社の人手が足りないので、アルバイトに来ないかと誘われ、軽い気持ちで行ったのですが、そのまま正社員になってしまいました。それが、定年までの40年に及ぶ仕事になるうとは思いませんでした。

広報：どこにご縁があるか分かりませんね。

加根：はい、その後 同じ業界の別の制作会社に転職しました。仕事自体は、CM・映像制作と変わりありませんでしたが1,000本以上のCM制作に係りました。今でも「マロニーちゃん♪」や「NTT西日本」や「小林製薬」など印象深いです。

広報：そうですか。どれも耳に残っています。すごいですね。ところで俳句とはどのようにして出会われましたか？

加根：俳句との出会いは、やはり仕事の

中からです。あるCMのロケで、某大手広告代理店の制作局長と箱根の芦ノ湖に行った帰り、彼がやおら手帳のようなものを広げメモを取り出したので、何をしているのか尋ねたところ、「俳句や」と言われました。

そして「来週句会があるから一度来てみないか？」と誘われ、俳句のことは何も知らないまま句会に参加することになりました。その場で俳号(俳句の名前)も作りました。思いの外楽しくそれから毎月の句会に参加することになりました。

広報：また良いご縁に恵まれましたね。

加根：はい。それからその世界にどっぷりハマってしまいました。

俳句・句会は不思議なもので、職業や立場など全く関係なく、俳号と俳句だけでつながる世界です。取引先の局長であろうが関係なく、「良いものは良い、悪いものは悪い」と率直に言える。そんな世界が魅力的でした。

広報：夏井先生とはどのように出会われたのですか？

加根：とある休みの日、テレビでNHKの「俳句王国」を見ていたら夏井いつきの句が紹介されていました。それが「つなぐれぬ手は垂れ末黒野の太陽」です。

広報：すみません。私にも分かるように少し解説していただけないか？

加根：今は手をつなぐ人もいなくなった。手は垂れたままだ。末黒野(＝季語。春の野焼きで真っ黒に焼けた野。)の太陽は、黒いのとは対照的に赤く輝くばかりだ。

私はとても衝撃を受けました。この句が私の一生を変えることになるなんて、その時は思いもしませんでした。当時は俳句を始めて、まだ2～3年だったのですが、自分の作りたい俳句はこの方向だと瞬時に思いました。

その時の夏井いつきの句がきっかけで、たまたまその時に企画していたネットテレビに、今は亡くなられた中島らもさんと夏井いつきを一緒に出演してもらう企画が持ち上がり、大阪から松山まで出演交渉に行くことになりました。ただ、その企画は、中島らもさんの急死により頓挫してしまいました。

広報：そうでしたか？

加根：でもそれから俳句の熱は冷めず、毎月の松山の夏井いつきのカルチャー教室に通うことになりました。俳句生活も5年になるころ、たまたま応募した作品が「第9回俳句界賞」を受賞しました。棚

からばたもち？いやいや実力ですけど(笑)

そんな事があり、ますます俳句を愛する生活にはまっていきました。

広報：夏井いつきと呼び捨てにしておられるのが気になります。世の中広しと言え、あの夏井先生をそう呼べる方は他にいませんね。

加根：(笑)まあ、俳人は俳号で呼び合うので普段はいつきさん、ボクは兼光さんです。その頃も、いつきさんはとても忙しく私は句会に通い、色々お手伝いしている内、俳句と同時にいつきさんと一生付き合っていこうと思うようになり、熟年再婚をすることになりました。

広報：そうでしたか。

加根：CM制作を65歳でなんとか無事定年を迎え、やっと松山に定住することになりました。ちょうど、「プレバト!!」も始まるタイミングだったので、二人の俳句の会社「夏井&カンパニー」を立ち上げました。その後 思いの他いつきさんがどんどん忙しくなり、二人の会社のつもりがいつの間にか10人を超える会社になっていました。

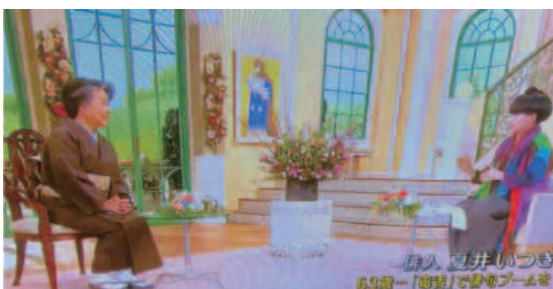
今でも月の半分は松山を飛び出し、句会ライブ・講演会・「プレバト!!」や「よみ旅」などのテレビ収録やロケなどで忙しい付き人生活をしています。とても定年後とは言えません。(笑)



広報：これからのご活躍も夏井先生を通して見させていただきます。私もプレバト・夏井先生の大ファンです。先生のご本を買っていますよ。「超カンタン俳句塾」「365日季語手帖」それに「赤ペン俳句教室」などです。それらのお陰で俳句がとても身近になりました。

泉陽高校は与謝野晶子の卒業校であり、夏休みの宿題には必ず俳句があります。近い将来に優秀作品を送らせて頂き、最優秀賞を決めて頂くなど交流が持てましたら、幸いです。本日は興味深いお話を有難うございました。

加根：こちらこそ有難うございました。



<徹子の部屋より>

公開講座のご報告

—タイトル「あなたの知らない消防の世界—始めましょう予防救急—」 泉陽会・組織委員会

開催日時；令和4年10月15日(土)

場 所；泉陽会館 2階

参加者人数；30名

講 師；大浜 誠一郎 (昭和52年卒29期生)

令和3年4月より一般社団法人「大阪IJ(いのちの授業)」

救急企画・コーディネーター、救急救命士」

講演の内容

西村 明氏(昭和52年卒29期生)より大浜氏のプロフィールが紹介されました。泉陽高校に於ける野球部の活動から始まりました。

35年6か月の消防人生で、20年間で現場対応の救急救隊で活動。2万件を超える災害現場に出場し、社会の縮図というべき様々な事案に遭遇。

それらの内容を盛り込み「消防の現状」「119番通報の実際」「事例の紹介」等タイトルを設け、それに従ってお話頂き、わかりやすかったです。

私たちの日常生活に関連することなので活発に質疑応答がなされました。



講師；大浜誠一郎プロフィール」

- ・島根大学法文学部法学科卒業。
- ・昭和58年10月大阪市消防吏員を拝命。
- ・平成7年救急救命士の国家資格を取得。
- ・最後の勤務地 大正消防署
- ・平成31年3月 定年により救急担当司令で消防界を引退。



東京支部 活動報告

東京支部長

天野純一(昭和53年卒 30期)

会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。早速ですが2022年度の活動報告をさせていただきます。

10月1日、私の経営するライブハウス レストラン 汐留 ブルームードで東京支部の同窓会例会を開催いたしました。コロナ第七波がピークアウトの様相を示すも、10月の行楽シーズンの影響もあり、出席者は35名と例年より少なめで、それでも初参加者3名を含め、昭和26年度卒～平成5年度卒までの幅広い皆さんの参加となりました。まずは柴田大介氏(昭和62年度卒)の司会から始まり、私の挨拶、河合清和氏(昭和28年度卒)の音頭で乾杯をし食事タイムへと移りました。



食事後の講演は、NPO法人医療制度研究会副理事長・本田宏先生による「病は気からを科学する」という我々中高年の皆からするととても興味深い内容で、病気の原因・性格と病気・スト

レスに強くなる方法など病気に打ち勝つ心の作り方について、ユーモアたっぷりにわかりやすくお話いただき、質問コーナーでも様々な意見が飛び交い、大好評でした。

メは、音楽部・フォークソング部出身者のリードによる恒例の女学校校歌・高校校歌・生徒歌を合唱してお開きとしました。

上記同窓会例会より遡ること3か月7月9日、第36江戸・東京さんぽを開催いたしました。今回のさんぽの地は、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」のうちの一人、頼朝に父とも慕われた千葉常胤が治めた千葉の地。参加者は23。まずは10：30に千葉駅に集合し、歩10分で千葉公園のハス池に到着。

この池に栽培されているハスは「大賀ハス」といい、千葉市花見川区の遺跡で種が発見され、70年前の昭和27年に栽培に成功し、この年も直径25センチほどのあざやかなピンク色の花を咲かせていました。例年より開花は1週ほど遅かったようですが、その後の酷暑で6月30日に花は過去最高の940輪となり、その後は徐々に落花してゆき、蜂の巣のような不思議で美しい「果托」を楽しむことができました。



その後は京成ホテルミラマーレでランチとなり、2年ぶりに再会できた人たちも多く、歓談の輪が広がりました。食後は千葉城(亥鼻城)へ。前述の常胤の像を見、模擬天守を巡りました。天守は昭和42年竣工の4層5階建てで、小田原城・会津若松城を模したといわれています。

最後は、千葉駅前の「チーバ君物産館」に立ち寄りました。

この日の順路は次のとおりです。

千葉駅→歩→千葉公園→モノレール→京成ホテルミラマーレ→バス→千葉城→バス→チーバ君物産館→千葉駅・解散

同窓会例会後の11月26日、第37江戸・東京さんぽ(秋)を開催いたしました。今回のさんぽの地は皇居・江戸城。参加者は20名。10：30に大手門入口に集合した時はあいにくの雨模様でしたが、その後お天気は回復しい楽しいさんぽとあいになりました。春に堺市東京事務所へ赴任してきた初参

加の山下風花さん(平成26年度卒)の若い力のおかげかもしれません。

この日巡った「皇居東御苑」は、旧江戸城の本丸・二の丸・三の丸の一部を宮殿の造営にあわせて皇居付属庭園として整備されたもので、苑内は四季折々の植物に彩られ、海外からの観光客の皆さんも大勢散策しており、賑わっていました。

まずは大手門入口から入城し百人番所を通して本丸跡・大奥跡・松の廊下跡・天守閣跡へと進み、しばし歴史をさかのぼって、それぞれの場所でおこなった歴史上の出来事を偲んだりもいたしました。

そして最後は、鮮やかな紅葉に後ろ髪

をひかれながらも、平川門より下城しました。この門は、死者や罪人が搬出されたことから別名「不浄門」と言われ、生きたままこの門を出たのは、浅野内匠頭と「絵島生島事件」でおなじみの絵島が有名で、また奥女中の通用口だったことから「お局御門」とも言われたとか。

昼食は平川門より歩5分のKKRホテル「たけぼし」でいただきました。我々のランチルームはさながらリトル堺とあいなった次第でございます。

この日の順路は次のとおりです。

大手門入口→百人番所→本丸跡→松野廊下跡→天守閣跡→二の丸庭園→



平川門→KKRホテル→解散

以上江戸・東京さんぽはいずれも、鈴木良之さん(昭和36年度卒・前東京支部長)に企画していただきました。感謝。

最後に本部の皆さん、本年はお会いできることを楽しみにしております。

同窓会報告・伝言板

12期生(昭和35年卒)同窓会開催のお知らせ

2年前に節目の同窓会として「傘寿同窓会」を計画しておりましたが、皆様ご承知の通り新型コロナの為に2度も延期を強いられてきました。

その新型コロナも収束の兆しが見えてきましたので下記の通り開催を計画しました。

つきましては、今からご予約のうえ是非ともご出席して頂きたいと存じます。(今回は2組が担当します)

日時：令和5年10月19日(木) 12:00～

場所：南海グリル(堺市堺区車之町西1丁)

なお、詳細は後日お送りするご案内状をご覧ください。

岩室 典雄 nori-4896-iwa@maia.eonet.ne.jp

TEL.090-5096-4893

14期生(昭和37年卒)最終同窓会ご案内

日時：令和5年11月12日(日) 正午開宴

会場：堺市 南海グリル東店

詳細は9月中頃に、改めてご案内します。尚、新型コロナウイルス感染拡大などの状況次第では開催見送りもあり得ますのでお含みおきます。14期生代議員 菅田、奥辻

34期生(昭和57年卒)同窓会のご案内

昭和57年卒業、34期生の皆様お待たせしました!

延期になってました還暦記念同窓会ついに開催です。様々な制約の中計画を練り始め、幹事一同ただいま絶賛準備中です。元気に笑顔でお会いできるのを楽しみにしています。

日時：令和5年10月22日(日) 13:00～16:00

会場：ヒルトン大阪 35階

スカイバンケット「ウィンドーズ」

34期同窓会幹事一同

3期生(昭和26年卒)同窓会 90歳 大集合



・日時 令和4年11月26日(土) 午後1時～3時

・開催場所 スイスホテル南海大阪35階「ベルビュー」

・参加者 男・女16名 (氏名は右記に記載)

コロナ禍で延び延びとなっていた90歳の同窓3期生有志会が開催されました。

先ず発起人代表の和田武子氏の挨拶に始まり、山中一暁氏の乾杯の音頭、その後 食事を頂きながら、参加者全員の2分間スピーチが始まりました。

・泉陽高校時代の思い出・健康の維持 長生きの秘訣

などなど 次々とスピーチが披露され、拍手 拍手で盛り上がりました。

2時間の持ち時間があっという間に終わりました。

閉会の挨拶は大澤徳平氏により行われ、その後散会しました。

戦禍の中を抜け生き抜いてきた私達です。

改めて90歳の喜びをかみしめ、笑顔で記念写真を撮影しました。

閉会後も名残を惜しむメンバーは6階のロビーに再集合。

90歳の集まりの熱い語りが、時間の過ぎるのを忘れ、遅くまで続けました。(記 3期生有志会会長; 小川泰造)

【参加者・敬称略】

・八木和歌穂	・小川 泰造	・大澤 徳平	・長井 貞乃
・山手 邦一	・中田 滋子	・阿部 篤子	・奥田 博子
・十川 慶子	・南口 弘子	・青木 淳子	・村松勢津子
・矢野 宏二	・杉岡 啓三	・山中 一暁	・和田 武子

○資料・写真提供; 長井つよし氏

○昭和26年3月 405名在籍

・令和5年1月 死亡確定 153名 50名不明

11期生(昭和34年卒)最終同窓会

—いつまでもお元気でお過ごしください—

幹事：酒井睦夫

1997年5月から開催された我々第11期生全体の同窓会も2022年10月21日をもって最終回を迎えることとなり、51名の参加で開催されました。

会式に先立ち、惜しくも逝去された行昭一郎先生はじめ2組 瀬良垣正弘君、今堀誠輔の両方に哀悼の意を表して黙祈を捧げました。

次に柴山総幹事より、1997年から開催した経緯と、毎回参加いただいた方々にお礼申し上げます。

12回開催の平均参加者は78名でしたとの報告がありました。

今回はコロナで窮屈な生活を余儀なくされてきたモヤモヤ感を思いの丈昔話に花を咲かせてくださいとの挨拶の後、本当に最後となる校歌斉唱後、中村正明君の乾杯の音頭で懇親会に突入しました。

宴会の途中、司会者から第一回から今回の最終の第12回までの開催毎に乾杯の音頭を取って頂いた方、閉会の辞を辞を頂いた方、毎回での出色の出来事として特に叙勲された方の紹介。抹茶のお手前でおもてなしたこと、絵画・書道のオークション、謡曲・詩吟・ジャズ・フラダンス等趣味が披露された事、思わずニヤッとするシニア川柳、18歳と81歳の違いに笑顔になりつつ、大阪府以外の特に埼玉県・千葉県他10名の方に会員を代表してを自己紹介と近況報告を頂きました。

最後に1組の田村さんから、心のこもったお手製の眼鏡ケースと小物入れを8組の塚本君から精力のつく銀杏のプレゼントに笑顔で一杯でした。



昭和34年卒11期生全体の同窓会はこれで最後となります。まだまだ元気な方も多いので、気のあった者同志のグループでの食事会でも、開催して明るい“あ”(歩く)“し”(喋る)“た”(食べる)を目指して特に女性の人は声がかかったら、是非参加して元気の交換会でもして口のほうはこれ以上鍛えることはありません。

特に足腰の“貯筋”をして健康寿命を延ばしてピンピンコロリを願いましょう。

「ご参考」人生百年時代“老詠讃歌”

- ・五十歳月半人生
(50歳の歳月は人生の半ばなり)
- ・七十矍鑠凌壮
(70にして矍鑠たり壯者を凌ぐ)
- ・八十道静楽風月
(80の道は静かに風月を楽しみ)
- ・百歳始開花万寿
(百歳にして始めて天寿の花を開く)

20期生(昭和43年卒)学年同窓会開催

令和4年11月22日、3年半ぶりに“学年同窓会”を開催しました。



コロナ禍ではありましたが、感染対策をしっかりと行い予定通りに66名が参加して開催できました。今回は堺の地を離れ、なんば旧歌舞伎座跡地に建築された＜ホテルロイヤルクラシック＞で行いました。

午後1時半開宴、鬼籍に入られた仲間達のご冥福を祈って“黙祷”からスタートし、遠方から参加した仲間の近況報告を聞いた後は、55年前の懐かしい泉陽時代の写真を回覧したり、今回欠席となった仲間から寄せられたメッセージを読んだりで大いに盛り上がりしました。あっという間に3時間が経過し、次の開催を約束して中締めとなりました。次回は令和6年春頃開催を予定していますので、多くのご参加をお待ちしています。

世話役 一同

21期生(昭和44年卒)同窓会報告

伊藤 裕康

拝啓 泉陽会の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和5年5月10日、シェラトン都ホテル大阪で第4回目の21期生同窓会を開催いたしました。

コロナの影響も若干残り67名参加と人数的には少なかったですが恩師の今井先生が参加いただき楽しいひと時を過ごしました。

次回は令和7年5月の連休明けを予定しています。

多くの皆様方の参加を願っています。

敬具



31期生(昭和54年卒)還暦同窓会報告



2020年に予定していました「31期還暦同窓会」が、コロナ禍で延期を余儀なくされ、やっと2022年9月24日南海グリルにおいて開催することができました。

始めに、洪田先生、中川路先生、木村先生に今ならではの昔話や近況をお話いただき、続いて各分野で活躍中の同級生にスピーチをしてもらいました。まず、現役の泉陽教師である石毛明生くんの現状報告で「泉陽は牧場ではなくなった」に会場がざわつき、米国在住東洋医学クリニック院長の長戸のり子さん、色鉛筆画家の渡邊(山下)美香子さん、元東日本大震災心理カウンセラーの宮下啓子さんらの話に感銘を受け、締めは阪神タイガース才木投手の父、才木昭義くんのエピソードトークで、あっという間の楽しい2時間でした。

前日のゲリラ豪雨の影響で欠席や遅参の人もありましたが、最終的に3名の先生方と同級生98名で、2年遅れの還暦を祝うことができ、名残を惜しみながらも再会を誓って閉会となりました。

二十歳の会同窓会(令和3年卒73期)

73期生 代表 田淵 裕太
泉陽会の皆様、記念同窓会の開催に際し、多大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。また、ご多忙のなか、ご出席いただきました恩師の先生方同窓生の皆様方にあたためて、お礼申し上げます。

令和5年1月5日、ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺にて成人式記念同窓会を開催いたしました。

同窓会は200名を超える卒業生が集まり、高校時代の話や近況報告など話題に尽きることなく歓談が進みました。また7名の恩師の先生方にもご参列いただき、かけがえのない時間を送ることが出来ました。

今回は抽選会を開催し、最後には全員の集合写真も撮影いたしました。

今後も今回のような素敵な会を開催していけるよう、会のブラッシュアップに取り組みます。また、次回開催時には73期生の皆が成長した姿で集まれるよう一同精進します。

今回、参加出来なかった同窓生、及び恩師の皆様方には、是非とも次の同窓会ではお会いできますよう、ご祈念申し上げます。

最後に開催に際してご参列いただいた恩師の先生、泉陽会の伊藤会長、そして一昨年の8月よりご指導いただいた湊田様、ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺の皆様には重ねて御礼申し上げます。



恩師と参加者全員の集合写真



打合せする幹事



泉陽会より「報奨金贈与」

—今後も引続き頑張ってください—

当校に於ける文化・体育クラブは素晴らしい活躍をしています。

泉陽会では、全国大会、近畿大会等にめざましい活躍をされた現役クラブに対して「報奨金」を提供する取り組みを、平成29年度よりはじめています。

クラブ名を報告します。

「教育振興費」の項目で令和4年度の決算報告に計上されています。

- ・吹奏楽部 ・音楽部 ・軽音楽部 ・弦学部
- ・ダンス部 ・ストリートダンス部
- ・ダンス部全国大会出場(2回)
- ・ポピュラーミュージッククラブ全国大会
- ・水泳部近畿大会出場



- ・男子ソフトテニス部近畿大会出場
- ・陸上競技部近畿大会出場

第147回 泉陽会ゴルフコンペ 開催のご報告 ー会員募集中ー

コロナに最新の注意を払い、泉陽会の皆様とともに継続してまいりました。

第147回コンペは予定通り、5月12日(金)に開催されました。

次回は9月8日(金)です。皆様の参加をお待ちしています。

世話人；竹山三郎(昭和48年卒25期)

電話 090 3358 0392

順位	競技者名	卒年
優勝	間吾泰芳	S55
準優勝	楠田行利	S50
3位	野田久志	S44
4位	楠本誠一	S48
5位	岩橋 正	S37
6位	田中康雄	S44
7位	中井泰三	S40
8位	打越 勝	S44
9位	中野 等	S49
10位	北野公一	S48
11位	井関洋一	S48
12位	北村直美	S50
13位	竹山三郎	S48
13位	水谷允生	S49
15位	野口 徹	S49
16位	宮田年雄	S27
17位	築地陸郎	S50



混声合唱団『コールいづみ』からのお誘い

『コールいづみ』は2016年、女性コーラスとして発足し、2020年からは混声合唱団として生まれ変わりました。現在、団員は13名です。52期生の石若雅弥先生のご指導のもと、同窓会館で、毎月第2・4月曜日(13時30分～15時30分)の2回(変則あり)練習しています。

私たちは、大先輩の「与謝野晶子」の命日に合わせて毎年5月に開催される晶子フォーラムに参加し、与謝野晶子作詩、石若雅弥作曲「君死にたまふことなかれ」等を披露しています。日頃の練習では石若先生が作曲・編曲した作品を歌い、曲想・楽典等を丁寧に解説してください。詩は、団員でもあり元泉陽高校教師の松永直子先生がきめ細かく教えてください。

オール泉陽の合唱団・教室・運動場も含め、涙が出るほど懐かしい場所での練習は卒業生の皆さまに是非体感して頂きたいです。校門をくぐると、在校生が、「こんにちは！」と声を掛けてくれ、昔からの優しい泉

陽高校気質は今も生きていますよ。

団員一同、見学・体験を心よりお待ちしております。

※ニューヨーク、カーネギーホールで歌いました。

2023年3月30日、ニューヨーク合唱フェスティバルにおいて石若雅弥率いる合唱団約70名が演奏し、コールいづみからも8名が参加しました。

世界の三大ホールのひとつと言われるカーネギーホールに足を踏み入れたときに目に入った半円形のきらきら輝く天井、座席、舞台……人生のなかで求めても手に入らない貴重な経験をしてきました。現地の方にも大変喜んでいただきました。

空き時間にはニューヨークを観光し、セントラルパークでは泉陽高校の校歌を演奏しました。

問合せ 上田いづみ(26期生)090-9163-0676

三上 撰(34期生)090-9703-8205

杉野 弘子(26期生)080-5326-3094

編集後記

『いつも原稿や情報を提供いただく同窓生の皆さま、心より感謝申し上げます。』

さて、泉陽会では新たに、中心となって「いづみ」の編集やレイアウトに協力していただける方を募集しております。毎年決まった記事はありますが、それ以外は面白おかしく、編集していただければと思います。第56号よりぜひとも、あなたの構想を母校・泉陽の1ページに刻んでみませんか。我こそはと思われる方、ぜひよろしく願いいたします！』